

## ウクライナめぐるあゆみ—背後に大国の影



### ウクライナ出身者も参加し ロシア大使館前で抗議行動

「ロシアによるウクライナへの侵略を許すな！」と2月28日午前、ロシア大使館前で、「日本平和委員会」と「日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本 AALA）」の呼びかけで抗議行動がおこなわれ、100人を超える人々が参加しました。

リレートークでは、「ロシアのウクライナへの軍事侵攻は許されない！」「ただちに軍事行動を止め、撤退せよ！」「国連憲章を守れ！」「ウクライナに平和を！」などと、口々に訴えました。

ウクライナ出身の女性（写真）も参加し、家族がキエフで避難していると語り、「ウクライナに平和を」「プーチンよ、これ以上人を殺さないで」と訴えました。

# 侵略NO！戦争NO！ ロシアは国連憲章を守れ！ ウクライナから即時撤退を！

### ソ連崩壊を契機に

1991年にソ連が崩壊し、ロシア、ウクライナなど11の独立国に分かれました。

これを機に米国やNATO（北大西洋条約機構）は、旧ソ連圏の国々や東欧諸国の取り込みを図ります。NATOの東方拡大です。

ソ連の後継国＝ロシアにとっては黙過できるものではなく、対抗措置を強めます。その結果、

旧ソ連圏・東欧圏の国々では、米国・西ヨーロッパにつくか、ロシアにつくかで、激しい政争が繰り広げられます。

### 親口か、親欧米か

なかでもウクライナの政争は一段と激しいものがありました。というのも、ウクライナ中央・西部はヨーロッパの影響が強かったのに対し、東部地域はロシア人が多数を占め、ロシアとの関係が強かったからです。

そのうえウクライナは、ウクライナ語を公用語とし、ウクライナ語を話さない人を公務員から排除するなど、極端な「ウクライナ化」を強行してきたことも、親ロシア派の人々の怒りを呼び起こす要因になりました。

そうしたなかで起きたのが、今回のロシアによるウクライナへの軍事侵攻です。これは国連憲章違反の侵略行為で、断じて許すことはできません。

同時に、米国やNATOが陰に陽にウクライナの親米・親西欧勢力への支援をおこない、東部地域の親ロシア派の人々への弾圧に手を貸してきたことを見過ごすことはできません。

2020年7月には黒海でウクライナ海軍と米海軍などによる大規模な多国間訓練がおこなわれ、ロシアを刺激していました。

### 大国の責任は重大

結局ウクライナはロシア、米

国・NATOなど大国の思惑に翻弄され、戦場とされる悲劇を被ることになったと言えるのではないのでしょうか？ロシア、米国・NATOの責任は重大です。

### 公正・対等・平和を

どんな理由、事情があるにせよ、ロシアによるウクライナへの侵略を看過することは、大国の、核兵器を背景にした力による支配に屈することになり、ひいては米国やNATO、中国などの「力の政策」をも許すことにつながります。

戦争や軍事力によって他国の政治に介入したり、現状変更を迫るやり方を許さず、公正・対等・平和な世界秩序をつくるためにも、ロシアの侵略を許さず、即時撤退を求めるとともに、米国・NATOに対しても「東方拡大」や軍事援助を止め、平和的解決に努めるよう求めていくことが大事です。



ロシア大使館前での抗議行動(2022年2月28日)。

### 戦争させない！埼玉の会

さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル3階 埼玉県平和委員会内 電話 048-711-4434

# 改憲・核軍拡・同盟強化は、戦争への道

## 国際紛争は平和的に解決を

第一次世界大戦の惨禍から、国際連盟をつくり、パリ不戦条約で戦争を違法化。第二次世界大戦後は国連憲章で「紛争の平和的解決」をうたうなど、国際社会は一度と戦争をしない、させないためのルールや制度をつくり、直近では小さな国々と市民らが力をあわせて核兵器禁止条約を成立、発効させてきました。

ロシアのウクライナへの核兵器による脅しを含めた軍事侵攻は、国際社会の長年にわたる平和の努力を踏みにじり、破壊するものです。こんなことを許せば、世界は再び前世紀のような力がすべての世界に逆戻りしてしまいます。

## 危機に便乗した改憲許すな

日本ではいま、「こそぞばかりに」「中国が攻めてきたらウクライナのように」と不安をかきたて、「敵基地攻撃能力を保有し、軍事力を強め、日米同盟強化を図り、憲法も変える」「核兵器を持つべき」などと煽るうごきが強まっています。

しかし、この道こそウクライナが、ロシアに對峙してきたやり方そのもので、結果的にロシアの侵攻を招いてしまったことを直視すべきです。

危機に便乗して、改憲や軍事力強化、核兵器保有などを煽ることは、絶対に許せません。

軍事に對して軍事で對抗することは、決して戦争を回避する道でも、平和を実現する道でもないことを、ロシアのウクライナへの軍事侵攻は、教えてくれているのではないのでしょうか。

### 安倍元首相「核共有議論を」

岸田首相「認め」  
岸田文雄首相は二十八日の核兵器を日本国内に配備し「共有」について「非核三原則から考えて認められない」と言元首相が二十七日のラジオ番組で述べたことを受け、岸田首相は「共有」について「認められない」と答えた。岸田首相は「共有」について「認められない」と答えた。岸田首相は「共有」について「認められない」と答えた。

「核共有議論を」公言した安倍元首相の発言を報じる「東京新聞」(2022年3月1日)。

## 世界の人々と声を上げよう

戦争は一部の権力者や利権追及勢力が引きおこします。戦争で犠牲になるのは、常に一般の市民やその子女たちです。

いまロシアの国内各地でも、逮捕や弾圧にも負けないで、戦争に反対する声が上がっています。

平和を求める世界の人々と力を合わせて、愚かで野蛮な戦争にストップをかけましょう！「憲法9条生かした平和外交を」の声を上げましょう！



日本平和委員会が呼びかけたツイッターデモ(2022年2月27日)。



国連本部の総会ビル前広場に置かれたモニュメント。銃身を縛られたピストルが非暴力を訴えています。

憲法9条生かした平和外交の展開で、平和・安全な日本を、世界を